
まさきだより

令和7年8月28日

ワクワクを求めて

夏休みが終わり、今日から学校が始まりました。現在のところ、夏休み期間中、大きな事故や怪我の報告は受けていません。子どもたちの元気な姿を見て、安心しました。夏休みのお子さんの様子はいかがでしたでしょうか。

7月の学校だよりで、子どもたちが感じている教科担任制への思いを掲載しました。その中で、「授業にワクワクする」ということを紹介しました。このワクワクするという思いは、学ぶことの原動力、自動車で例えると「エンジン」に相当します。私も子どものときにワクワクしたことを思い出しました。

- ・父親に連れられて、カブトムシやクワガタムシを捕まえに行ったときに、木をゆすったらカブトムシが木から落ちてきて、それを捕まえたとき。
- ・田んぼにある小さな水路の中に、網を入れてすくったら、メダカ、フナ、ドジョウがとれたとき。
- ・近所の神社の木にのぼってきたセミの幼虫を捕まえてきて自宅に持ち帰り、目の前で羽化したとき。

皆さんは、小学生の時にどんなことにワクワクしましたでしょうか。こうしてみると、私は身の周りの自然が好きで、特に生き物を捕まえること、飼育することにワクワクしていたように思います。もちろん時間を忘れて、捕まえることに夢中でした。

ワクワクしているときにとっさに出る言葉に、「あ〜」「あっ」、「えっ」「お〜」などがあります。普段より、少し目を大きく開いて、近づいて見ようとします。そして、「なぜかな」と考えるときに自然に出る言葉に、「う〜」があります。どれも短い言葉ですが、心の中を映している言葉だと感じています。また、ワクワクしているときには、対象物に自然に近づいていきます。カブトムシを捕まえて、角を持って目の前で観察したことは何度もあります。

「教科担任制だから、授業にワクワクする」から、「教科担任の先生の授業がすごく楽しいから、夢中になってしまうから、授業にワクワクする」、「もう授業終わりなの、まだやりたい」と一人でも多くの児童が感じてもらえるように、授業改善に取り組みます。子どもたちにとって分かりやすい授業、力を付ける授業、ワクワクする授業、授業を充実させることが何より大切だと考えています。そこで、フリー参観を10月22日に予定しています。高学年は、教科担任による授業を予定しています。その後、保護者の皆様に教科担任制についてのご意見をお伺いしたいと思います。8月からの本校の学校経営にご理解とご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。 校長 花村 伸二